

2025年6月9日

学修行動・成果アンケートについて

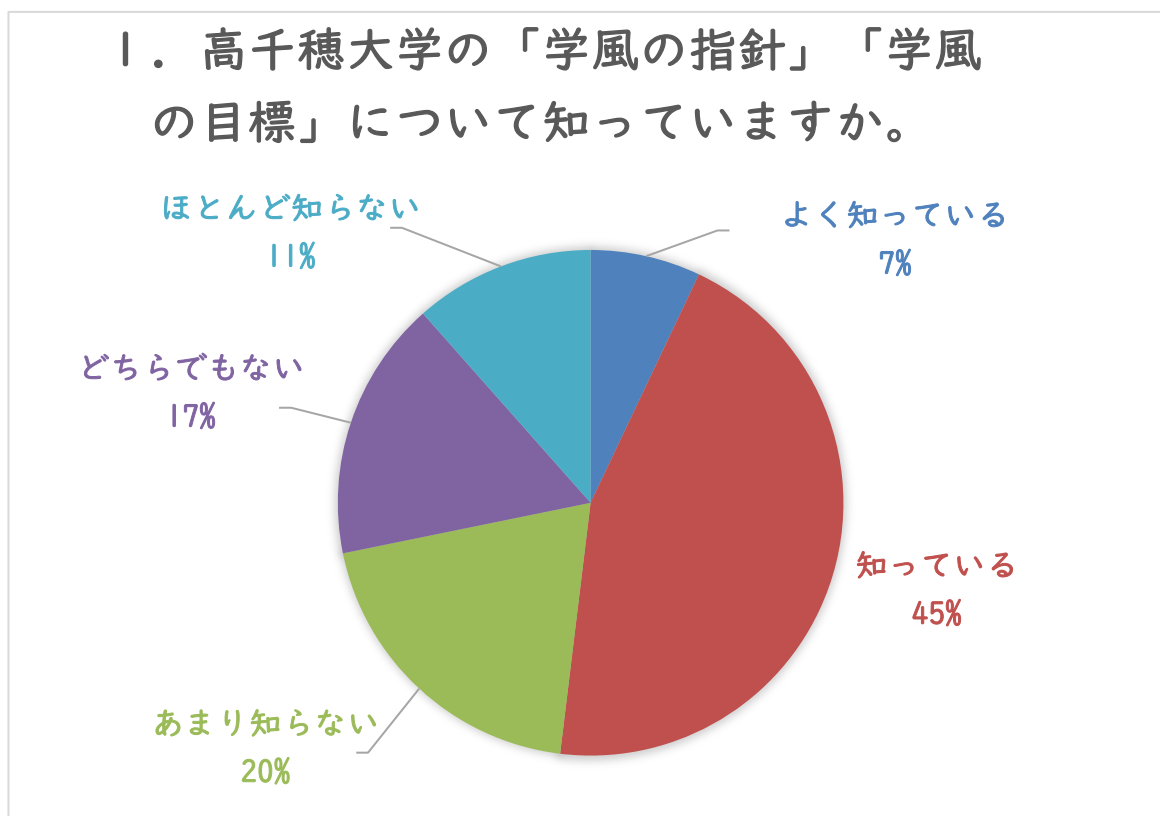
学長室
教務委員会

高千穂大学では、学長室・教務委員会の共同事業として新入生を対象とした学修行動・学修成果に関するアンケート調査を実施しております。2022年度から始まった調査で継続的に実施されることで、高千穂大学での学びの状況についてアンケート調査を用いて、全学的な状況を明らかにするものとなっています。

2025年度は新入生が授業に慣れてきた5月中旬から5月下旬にかけて実施いたしました。Googleフォームを用いたオンラインで調査を行い、186名からの回答を得ました。

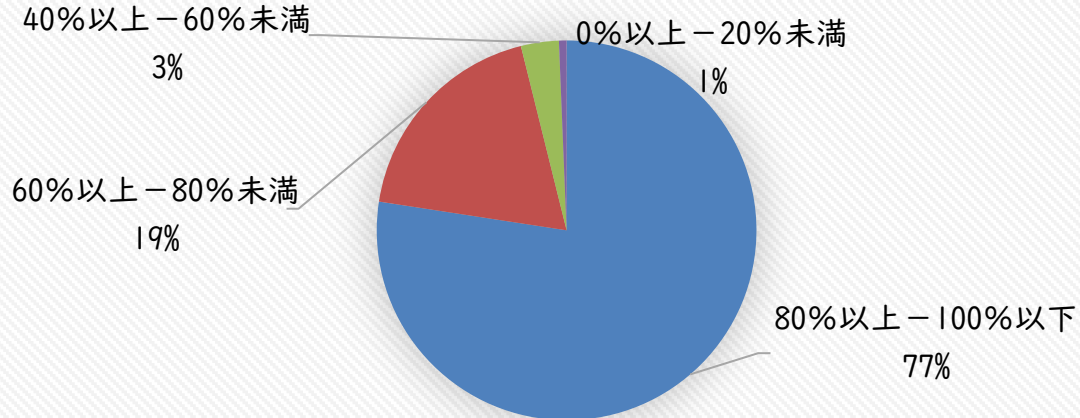
本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

1年生（2025年入学生）

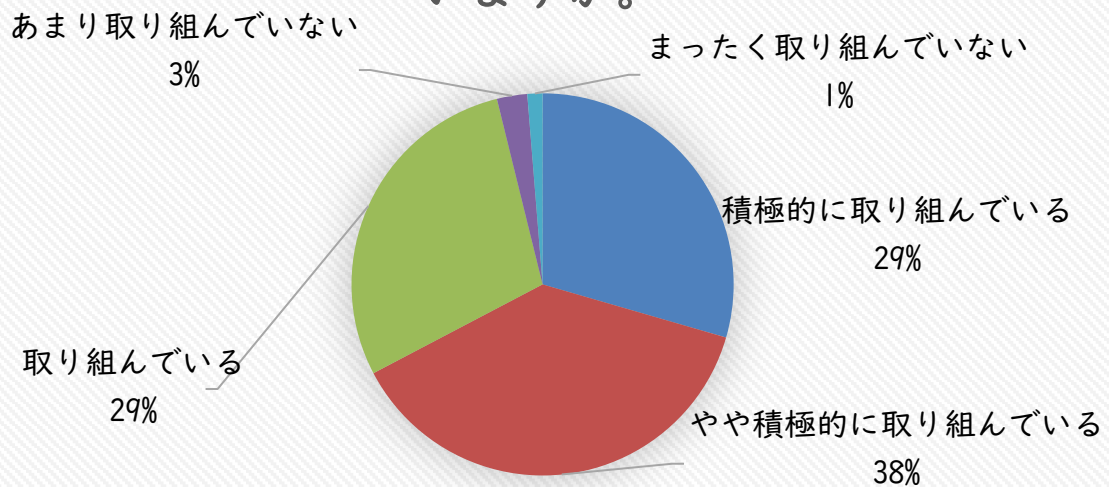


「よく知っている」と「知っている」を合わせて半数以上の学生が本学の学風の指針と学風の目標を理解している状況にある。これは、入学式から1年生の必修ゼミを通じて、直接・間接的に理解されていることになっていると思われる。

2. 授業に出席している割合はどのくらいですか。

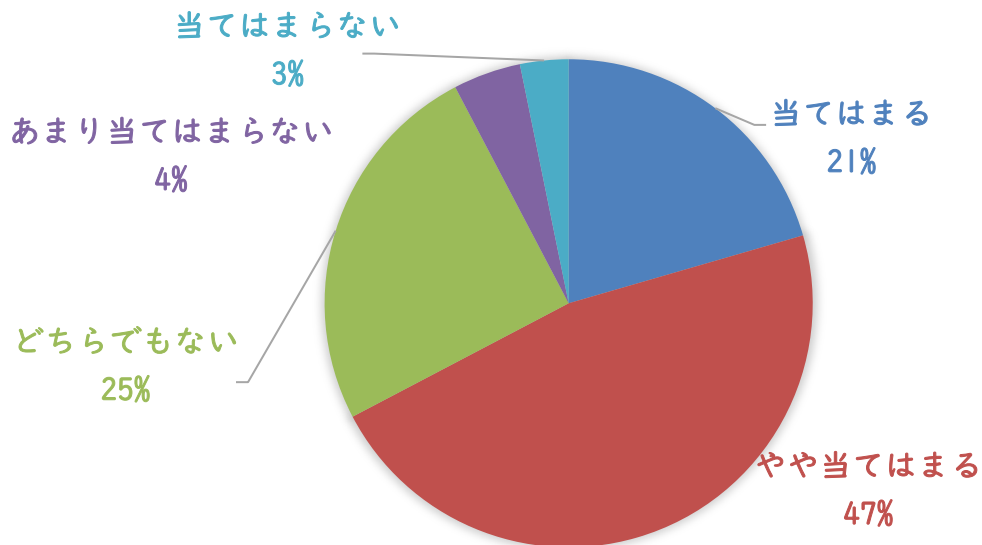


3. 授業に対して積極的に取り組んでいますか。

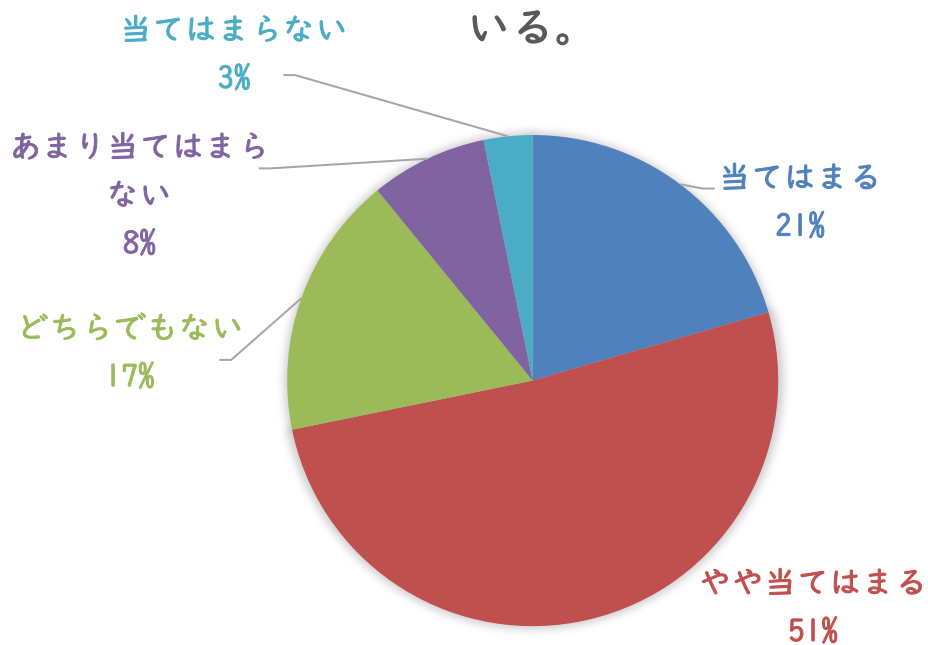


コメント：多くの学生が授業に参加し、積極的に授業に取り組んでいることがうかがえる。特に、出席については欠席が40%以下の学生が95%となっており、コロナ前の水準を超える出席率となっていることから、対面での講義形式に完全に復帰できているといいだろう。

4. 幅広い知識や教養を身につけている。

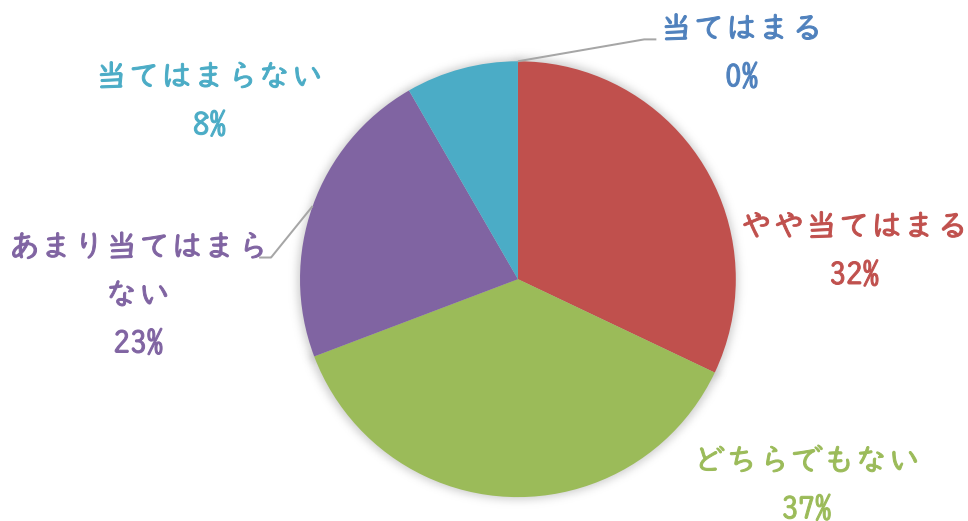


5. 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。

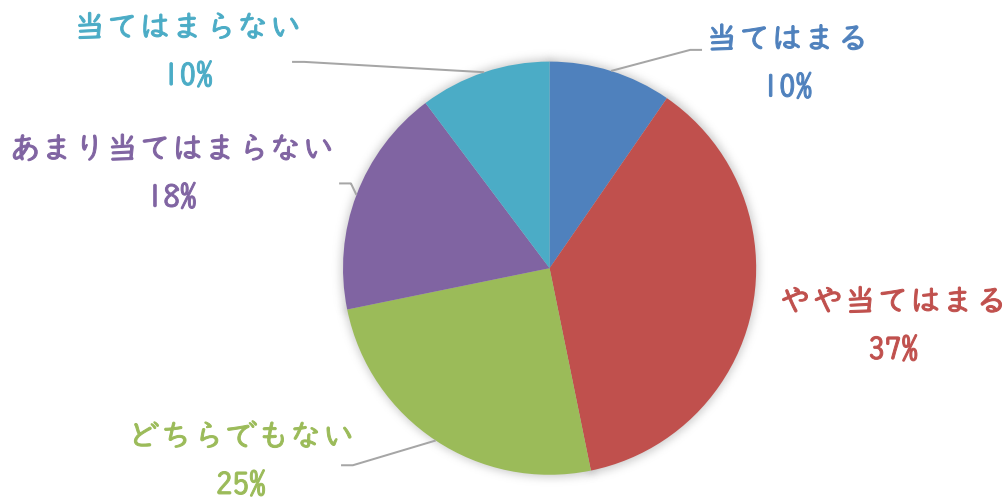


コメント：教養科目、専門科目の知識も身につけていることがうかがえる。本学では、1年次から教養科目と専門科目をバランス良く導入し、無理なく履修出来るようにしている。その結果がしっかりと表れていると言える。

6. レポートの作成で必要となる情報 収集技能を持っている

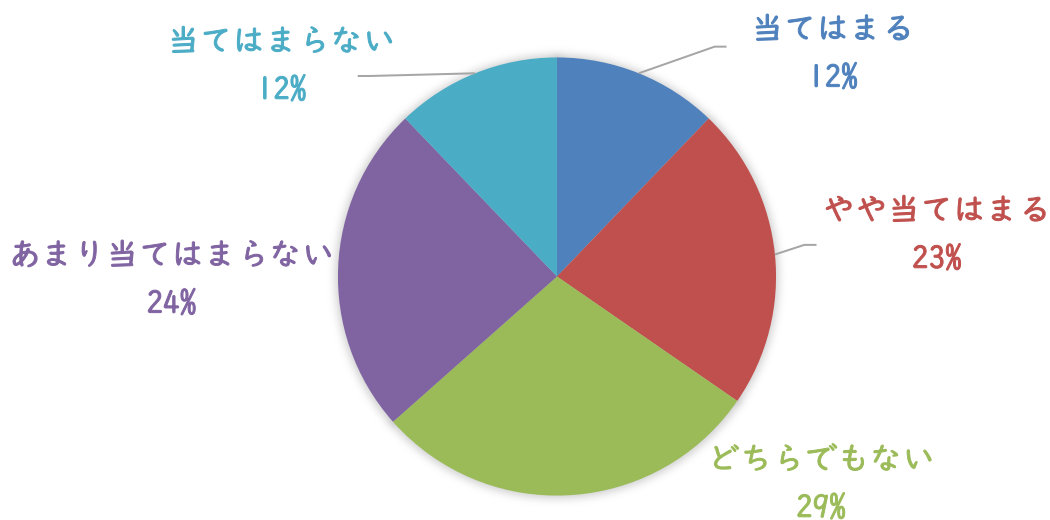


7. レポート作成に必要な文章作成 技能を有している



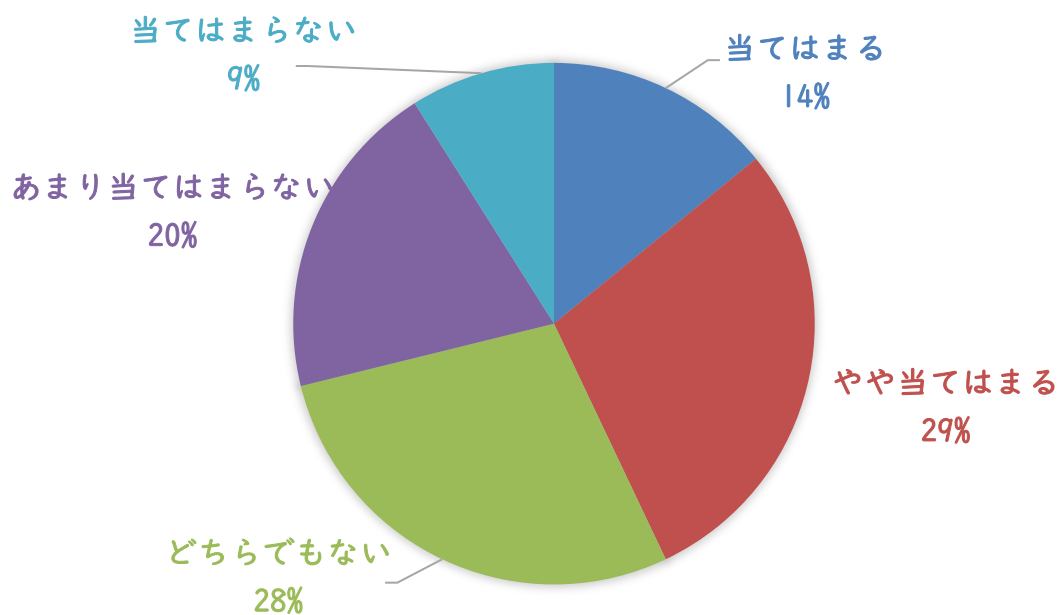
コメント：調査時期となっている5月の段階では、各講義においてもレポート課題について説明がほとんどない状況にあるかと思われる。そのため結果がやや悪くなっているが、これ以降学期末までに習得していくことが予想される。

8. プレゼンテーション能力を有している

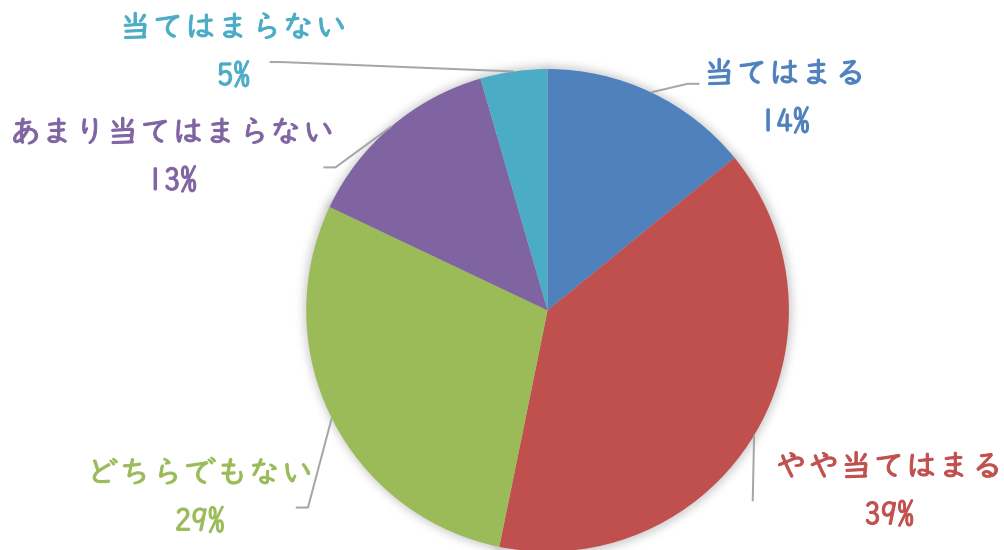


コメント：本学の学びにおいては、プレゼンテーションについては1年次後期において基礎からしっかりと学習することとなっている。そのため、現時点ではまだ学修成果として顕れてきていないと思われる。

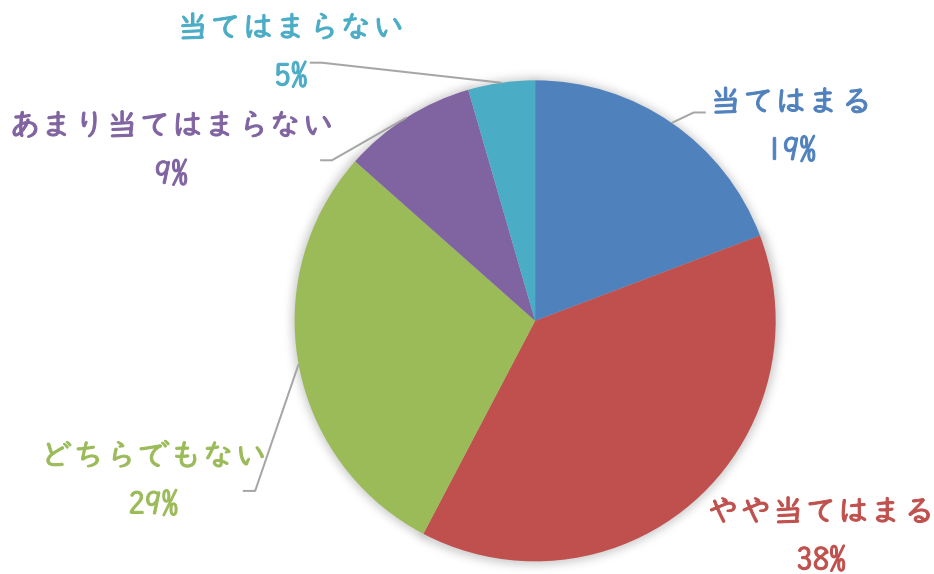
9. 前に踏み出す力が身についている



10. 考え抜く力が身に付いている



11. チームで働く力が身についている



コメント：社会人基礎力の要素である「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」について基本的には4年間の大学生活を通して身につけることになる。現段階では、後者の2項目について半数以上の学生が身につけていると回答しており、短期間ではあるが大学での生活に適応する過程において学修し、その成果が出ているとも考えられるだろう。

以上